



学校通信

令和7年 2月28日
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎
(第11号)

学校経営の取組とその評価について

校長 岩下 桂郎

まだまだ寒い日が続きますが、暖かい日と寒い日を繰り返しながら、少しずつ春に向かっていく季節の移り変わりを感じるようになりました。

今年度もあと1ヶ月となり、卒業学年の幼児・児童・生徒たちは、修了式・卒業式に向けた練習を始めています。それぞれに葛飾盲学校で過ごした年月は異なりますが、本校で頑張ったことや、これからの希望を、修了式・卒業式という晴れがましい場で、御出席いただく保護者の方や地域の方々にお伝えできればと思います。

先日、学校運営連絡協議会が開催され、本校の1年間の取組について、学校評価から見えてきた課題を中心に、委員の方々から御助言をいただきました。進路に向けた取組としては、文京盲学校との連携をさらに密にし、必要な情報を保護者に提供できると良いという御意見をいただきました。また、副籍交流については、直接交流につながる事が重要であり、そのためにも相手校や保護者の理解が得られるよう進めていけるとよいという御意見がありました。アプリを活用した保護者とのやり取りについては、実際に利用している委員から使いやすさなどの御助言をいただきました。

総括として、本会の委員長から本校に対して「視覚障害のある一人一人の子どもたちへの指導を丁寧に行っている」という、大変ありがたいお言葉をいただきました。

3月の全校保護者会では、これらについて、学校としてすぐに取り組むべきことと、計画を立ててしっかり行うことに分けて課題を整理し、今後の学校の取組について、お話をさせていただきたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

「親子リトミック」

2月6日に、「こどもの城合唱団」の高谷温子先生、林あづさ先生を講師にお招きし、「親子リトミック」を実施しました。在籍幼児親子3組、乳幼児教育相談親子5組が参加し、楽しく体を動かしました。

ピアノの音や先生の歌に合わせて、歩いたり、グルグル回ったり、お父さんやお母さんに高く抱き上げてもらったりしました。笑顔いっぱいの子供たちがとてもかわいらしかったです。



(幼稚部 林)